本を選ぶ
高校図書館版

NO.49 2010年(平成22年) 5月10日
http://www.las2005.com

●発行／ライブラリー・アド・サービス
〒162-0825 東京都新宿区神楽坂 5-20-5-504 TEL=03-3235-6168

ろん・ぽわん

吹いていった先の風

ことり文庫は、小さな絵本屋です。店の看板には、「子どもの本と、ゆっくりとおだやかな時間を、扱っています」と書いてあります。

大型書店の児童書担当、図書館司書の資格取得、専門店でのアルバイトなど、10年ほどの修行を経て、4年前に開店しました。きりもりしているのは、わたし一人ですが、ご縁によって営まれている店だと、思っています。もちろん、それまで私が気がつかなかっただけで、何事もそうなのでしょう。どんなささやかなことでも、行動には風がともないます。その風がどこかの風車（かざぐるま）をまわし、またそこで風が生まれ……。

ことり文庫にとって、高校生の作るフリーペーパー anmitsu さんも、思いがけないところでまわった、風車のひとつです。ネットを通して知り合った絵本の好きな友人を通して知り合った方がanmitsu の世話役をしていて、ちょうど新しい事務所をさがしているとのことで、引き受けました。

編集から、レイアウトデザイン、広告営業（これがうまくいかないときは、フリマなどでの資金集め）まで、実際の作業はすべて高校生が自分たちで考え、行動をすることを趣旨としていて、何かあったときの引き受け役もその方がやっているので、ことり文庫は、ただ、場所を提供し、気が向いたときには、お菓子やお茶を用意するだけです。編集会議のときなど、「そんなこといいから、まず、必要なことをちゃっちゃと決めちゃいなよ！」と言いたくなるのをこらえて、わたしはわたしの仕事にむかっています。

anmitsu 編集部が引っ越してきて1年。三年生が引退し、メンバーも入れ替わりました。新しく中心メンバーになった二年生は、それまであたためていた力をぐっと発揮して、おとなが背中を押さなくても力強く動き出します。一方で、最近では、まだ、すこしおとなの力も必要かな、とも思います。フリーペーパーは高校生の読者に向けて作られていますが、彼女たちの活動はおとなと向かい合い、その多くは有償の仕事と同じクオリティを無償で提供している人たちです。これまでは「高校生だからしかたがない」「高校生にしてはしっかりしている」で過ごしていることも多く、けれどそうして力を制限するのではなくて引き上げるのも、関わるおとなの責任なのかな、と。

anmitsu さんの風車から生まれた風が、また、ことり文庫にも吹いてきます。このリーフレットもそのひとつだし、ここからまた、どこかへ吹くかもしれません。そんな遠くの小さな風も感じて、自分の行動にきりっと向き合うこと。たくさんのご縁が紡がれ物語の生まれるこの場所で、いつかその大切さに、ふと気がついてもらえたら。

そよ風を追い越して、ぐんぐん未来に向かっている彼女たちにふれながら、そう想うこの頃です。

（ことり文庫：川崎　ふみ）

学校図書館版「ツカエル雑誌カタログ」

神奈川県学校図書館員研究会横浜北地区会

図書館で購入する雑誌の選定は、「図書委員にすべて任せる」生徒の自立尊重型もありますが、「生徒のリクエストやアンケートを基にして、全体のバランスを見て司書が決める」という形式が多いようです。

生徒の希望する雑誌は、ファッション・音楽・アニメ･ゲームの雑誌が多く、種類がたくさんあり、実際に見たことのないものもあって、選ぶのが大変です。そんな時に「この情報を役に立ててもらえるとうれしい」という気分で学校図書館版「ツカエル雑誌カタログ」をまとめました。

実際の作業は 2008 年 7 月に神奈川県学校図書館員研究会 187 校にアンケートを依頼することから始め、2009 年 5 月発行の研究会紀要「つどい」で発表しています。

1）購入雑誌と生徒の利用を点数化

アンケートでは購入雑誌に利用状況の評価を点けてもらいました。生徒に「よく利用される‥3点」から「全く利用されない・・0点」までの4段階の評価です。購読数は少ないが、評価の高い意外な雑誌もありました。

回答 109 校の購入雑誌は 137 種類。研究会紀要「つどい」の特集記事A4判 26 ページに掲載しました。今回は、その一部をご紹介します。

2）定番雑誌ベスト 10

たくさんの学校で購入されている雑誌を評価の高い順に紹介しています。

1位 「non・no」集英社

月2 評価 207 点 購読 70 校

女子高校生定番ファッション誌。町を歩いているフツーの女の子ファッション。旅行・恋愛・ダイエットと、内容豊富で、おしゃべりしながら読むのが定番のスタイル。セックスに関する記事が掲載されている場合も、ポイントは常識的。

2位 「Number」文藝春秋

隔週 評価 201 点 購読 85 校

正式名「Sports Graphic Number」。1980 年に創刊された総合スポーツ誌。幅広く様々なスポーツを対象とし、記事は硬派なスポーツジャーナリズムで貫かれている。個別のスポーツ誌を買う余裕がない時はこういう総合誌で済ませることも多い。なお、他の総合スポーツ誌「スポルティーバ」は、よりエンタテイメント性が強い。

3位 「YOKOHAMA Walker」

角川書店 隔週 評価 189 点 購読 77 校

横浜の情報を中心に、神奈川県内のエンタテイメント、グルメ、イベント情報など、お役立ち情報がいっぱい。学校のある地域によって利用度が変わってくるので、利用が少ない場合は「TOKYO Walker」を購入して様子を見るとよい。

4位 「オレンジページ」オレンジページ

月2 評価 176 点 購読 82 校

料理がメインだが、料理以外の記事も多く、価格のわりにお得感が高い。レシピはお手軽・簡単なので高校生にも作りやすい。

5位 「Newton」ニュートンプレス

月刊 評価 168 点 購読 95 校

科学に関する様々な情報をイラストや写真を多用してわかりやすくビジュアルに作られている。レファレンスにも大変役立つと思われるが、近年科学に対する好奇心のある生徒が少ないのは残念である。黒色のページが多く、印刷には不向き。

6位 「ロードショー」集英社

月刊 休刊 評価 149 点 購読 59 校

購読校数・利用評価ともに映画雑誌ではトップであったが、09 年 1 月号 (1972 年創刊) をもって休刊。大手出版社の映画情報誌がなくなることになった。残念。以後は「スクリーン」(近代映画社) に切り替えたところが多いと思う。

7位 「CDでーた」角川書店

月刊 評価 143 点 購読 54 校

音楽雑誌。表紙のアーティストのインタビュー

の記事がポイント。他はCD情報の堅実な音楽情報誌。9位の「ＰＡＴｉＰＡＴｉ」のような派手目のビジュアル系音楽誌がそばにあると、読んでもらえないこともあるが、好感度は高い。

8位 「ダ・ヴィンチ」メディアファクトリー
月刊 評価134点 購読67校

本に関して毎回盛りだくさんの内容である。注目の作家を簡潔にまとめた特集は参考になる。生徒が直接利用することは少ないかもしれないが、司書の必須アイテム。

9位 「ＰＡＴｉＰＡＴｉ」ソニー・マガジンズ
月刊 評価109点 購読38校

ビジュアル系音楽雑誌。アーティストの写真が中心。紛失等のトラブルもあるが、元気な生徒も見にくるので、気分転換になる。2010年、誌面が地味になってきている。

10位 「週刊ファミ通」エンターブレイン
週刊 評価106点 購読36校

ゲーム雑誌。毎週、新刊の到着を待っている生徒が多い。週刊なので、1年分保存は場所をとるが、攻略法を探しに来る生徒が、時々いる。

3）あの雑誌とこの雑誌はどう違う？

名前からは中身が想像できない雑誌。そんな雑誌の特徴を①総合誌・情報誌②女性ファッション③男性ファッション④スポーツ⑤芸能・エンタテイメントなど9部門に分類してコメントを付けました。

記事分量が少なめの「男性ファッション部門編」を紹介します。

「MEN'S NON-NO」集英社 月刊

女性ファッション誌では「ｎｏｎ・ｎｏ」人気がダントツなので、その男性版かというと傾向がかなり違う。対象年齢がもう少し上で、紹介される服の価格も高校生には高め。

「FINEBOYS」日之出出版 月刊

私服が気になりだしたファッション初心者向け。対象年齢は大学生向けだが、目立ちすぎるのが嫌な高校生にはピッタリ。日常的に着られそうな服が紹介されている。

「Choki Choki」内外出版社 月刊

ファッションだけでなく、ヘアスタイルやフェイスケアも紹介されているので、流行の髪型や肌の手入れが気になりだした高校生にはよいかも。

4）図書館にファッション雑誌がある！

学校図書館の雑誌は、以前は教科推薦系のものが多かったのですが、現在は生徒の好みが優先です。それでも、生徒の学校図書館に対するイメージは意外に保守的で，新入生オリエンテーションの時に「ファッション雑誌がある！」という驚きの声を必ず聞きます。

雑誌のビジュアルな表紙だけでも、図書館の印象を変えます。生徒が喜びそうなものを揃えたいと思うのですが、予算の制限もあるし、生徒の好みもいろいろで、全員の生徒を満足させるのは難しい。でも、司書としては、なんとか工夫して、できるだけ多くの生徒を満足させたいと思っています。

5）最後に・・・こんなことをしてみたい

雑誌を18誌購入している場合、そのうち10誌をアンケート結果にある“定番雑誌ベスト10”にして年間購読し、残りの8誌を自由選択の枠にしたらどうでしょうか。

自由選択枠で、生徒がリクエストした雑誌を順番に全部買ってゆく。図書館の印象に変化が出るし、お客さんもいつもと違う生徒が来るかもしれません。今月からはファッション雑誌特集、その次はスポーツ系雑誌特集・・・という感じで、3か月サイクル程度で変えてゆく、評判がよかったら、次の年は年間購読にするとか。

生徒のほうも、雑誌が変われば見に来るかもしれないし、たくさん利用すれば来年から買ってもらえると思って、図書館に何回もきてくれるかもしれない・・いかがですか？

（神奈川県立元石川高校 学校司書 新井栄／神奈川県立港北高校 学校司書 岩淵幹子）

今だから囁こう「学校図書館は楽しい」と

岩下 雅子

今年の４月に32年間勤務した高校の図書館へ別れを告げて、県立短大の附属図書館に異動した。高校では学校司書である自分がダイレクトに図書館運営をしてきたが、短大図書館ではこれまでの図書館運営と勝手が異なり、組織の違いに戸惑っている。

図書館が一番必要とするフットワークの軽さを発揮することの難しさを実感すると同時に、学校司書がプロとしての腕前を存分に発揮できる学校図書館をあらためて羨ましく思っている。秘密をそっと打ち明けるように囁きたい「学校図書館は楽しい」と。実際、スクールカラーを活かした図書館をハード・ソフトの両面から作り上げる醍醐味を学校司書は満喫して欲しいと思う。これから短大図書館の醍醐味を覚えていく私だが、高校の図書館を離れたばかりの身には、何か大事なものを手放したような喪失感がまだ心をよぎる。とはいえ「短大の図書館もなかなかのものにしてみせましょうぞ」と心の中で呟いているのも事実である。

求めたのは学校図書館の可能性

学校図書館の主人公は「生徒」と「本」と常々考えてきた。そう言いきると、目指す学校図書館の姿が見えてくる。４校の高校を経験したが、最後に勤務した高校ではさらに「学校図書館の可能性を拓く」ことを考えて図書館運営や図書館行事に取り組んできた。実践したことを紹介しよう。

まず、生徒による図書館案内。新旧の正副図書委員長４人が新入生を対象に「図書館アドベンチャー・ツアー」と称して生徒の目線による図書館ガイドを実施。時にはユーモラスな図書館活用裏技伝授の説明に笑いが起きるほどだった。

生徒目線は書架の分類表示にも反映させた。書架の上の分類板と共に図書委員が作ったオブジェを置き「分類立体表示」と名付けて、どんな本が書架に置いてあるのか案内をした。例えば工学の書架の上にはペーパークラフトのパルテノン神殿が、芸術・スポーツの書架の上には保護者からいただいたギリシア彫刻のミニレプリカがといった具合である。

広報活動は積極的に行った。月１回発行の「図書館だより」とは別に月に２～３回「新刊紹介」を発行した。放送部の協力を得て、昼休みの校内放送でＢＧＭと共に新刊紹介を行い、目と耳に訴える広報活動を展開した。

雑誌は入荷した日にレストランのメニューよろしくミニ黒板でカラフルなイラストと共に紹介。図書館は情報を提供する場所。上映中の映画や美術館等のパンフレットコーナーは生徒に大人気だった。

新刊書架に並べられた本にも一工夫。書店のアイデアを拝借して、ポップを活用して本に一言コメントをつけると、それだけで俄然本への注目度が違ってきた。

生徒が美術の授業で作成した本のブックカバーの中から数点を選び、図書館オリジナルとして採用。ブックカバーはなぜか男子生徒に人気だった。

図書委員たちがもっとも楽しみにしていたのが図書館で購入する本の買い出し。毎回10名以上の図書委員が参加して60冊程度の本を購入。生徒の選書センスが試されるのは勿論である。

図書委員会と地域の交流は活発で、地元の椋鳩十文学記念館が開催する「マヤフェスタ」や大学が主催する「椋鳩十祭」では、図書委員がブックトークを行った。また幼い子どもたちを対象とした「めだかの無料配布」などボランティア活動にも積極的に参加した。

活発な図書委員会活動の理由（わけ）を知りたいという要望にこたえて、図書委員ＯＢは書店が開催するブックフェスタに呼ばれて「学校図書館は楽しい」と題してトークライブを行った。会場からは幾つか質問も出るなど書店とタイアップした楽しい企画が実現した。

「司書になりたい」と希望する生徒の要望にこた

えて「1 day 図書館司書インターンシップ・プログラム」も実施した。1 day が 2 day になるほど好評だった（司書冥利に尽きる）。

授業の図書館活用では、一～二年生が保健の授業で 7 時間かけて環境や健康に関する調べ学習を行った。調べ学習がスムーズにいくように授業が終了するまで、オリジナルの分類案内板を書架に取り付けた。英語のディベートや、ＡＬＴ（英語指導助手）と生徒によるインタビューの授業、国語、書道の仮名ちらし書きの調べ学習でも図書館を活用した。

先生のプロとしての姿も知ってもらいたいと、書道の先生の作品展を図書館で開催した。本格的なギャラリーの個展もどきに「〇〇先生女流書家作品展」と銘打って 1 か月間展示をした。PTA の見学者も多く訪れるなど企画展として大成功だった。

ユニークだったのは、一年～三年までの全クラスを対象に国語の授業を活用して 1 時間かけて「図書館必殺裏技伝授」と題して、国語教師と学校司書が連携して、小論文図書の活用スキルを実施したことだった。

年に 3 回実施する図書館行事 Joy of Books は、図書館を地域に開放し、本への思いを語るブックトークと、室内楽を楽しむ会である。ブックトークには生徒・職員・保護者だけでなく、校長先生や卒業生、地元の ALT（英語指導助手）数名も参加。室内楽は吹奏楽部を中心に、さまざまな楽器の演奏を図書館で披露してもらった。この室内楽には、国語、英語、物理と教科を越えて多くの先生方も参加している。授業とは違う先生の姿に生徒は大喜びである。

休憩タイムには PTA の協力でドリップ仕立てのコーヒーと手作りのお菓子が提供される。保護者と図書委員たちが協力する姿もほほえましい。この日の図書館は素敵なサロンに変身。生徒をはじめ保護者や地域の方々に、学校図書館の持つ魅力を満喫してもらう大きなイベントである。

毎年 11 月に開催される「県民教育週間」では、図書館を地域に開放してテーマ展示も同時開催している。椋鳩十生誕百十年では椋鳩十文学記念館から直筆複写原稿や取材ノートをお借りして特別企画展を開催。また NHK の大河ドラマで篤姫がブームになると、縁の深い加治木島津の貞姫展を開催した。この特別企画展でも、地元の郷土館や文化財室から貴重な資料をお借りして、充実した内容の企画展を開催することが出来た。

これからの学校図書館は、24 時間オープンのオンライン図書館も運営するべきだという考えから、学校図書館の HP を開設したのは 6 年前である。この HP では、高校では珍しい本の予約やレファレンスも直接依頼が出来るようにした。

25 年前サンフランシスコ公共図書館を訪れた時、図書館間のネットワークシステムの普及に驚いた。10 年前フロリダのタンパ市の高校図書館を 3 校訪れた時には、学校図書館には 30 ～ 50 台のパソコンがあり、3 台に 1 台の割合でプリンターが設置してあった。高校までの司書はメディアスペシャリストと呼ばれ、「情報」を扱う司書は本の知識は勿論のことパソコンにも精通しなければならないと実感した。

これからは情報力

これからの時代は、いままで学校に求められていた学力だけでなく「知識力」「企画力」さらに「情報力」が大変重要になってくると考えられる。究極の情報力を培うのは、人類の知的遺産である本からだと信じる司書（私）は、情報力を培う場所は「図書館」だと思いたい。そして学校図書館は、児童・生徒の新しい「知力」の可能性を拓くと同時に校内文化の拠点としても大きな力と魅力を秘めていると思う。

まだまだ学校図書館の可能性を拓く図書館のアイデアは尽きないが、そのアイデアは新天地の短大図書館に繋がり、花開けばと願っている。（鹿児島県立短期大学附属図書館　専門員：いわした　まさこ）

「書物の復権」はここから

杉田　啓三

「国民読書年」と「電子書籍元年」

今年は、「国民読書年」です。各地で色々な催しが行われています。ここ十年活字離れと出版不況が叫ばれるなか、2001 年「子ども読書活動推進法」、2005 年「文字・活字文化振興法」が制定され、2007 年には（財）文字・活字文化推進機構が設立されて、国をあげての書物復権への取り組みがようやく始まりました。

その一方で、今年は「電子書籍元年」ともいわれ、キンドルやｉＰａｄの日本版が発売されるとあって幕末の黒船来襲さながらの騒ぎようです。

こうしたなか、若い人たちの「活字離れ」がいわれていますが、果して本を読まなくなったのは、若者だけでしょうか。出版文化振興財団（JPIC）の読書実態調査によると、成人が一カ月に読む本の平均冊数は一冊がトップ（29･2%）だった、といいます。

本当の「読書体験」

その調査は、予想された数字です。大人も子どももケータイにネットに明け暮れ、デジタル化の恩恵に酔い痴れている現状を思うと、このことは、単なる「読書離れ」現象だとは思えません。すべてにわたって「コンビニ型発想」と「アンチョコ」に依存し、手間ひまかけて物事に取り組み、じっくり考えたりすることを忘れたわが日本の「ライフスタイル」に起因していると思います。このことを根本から変えなければ、一億総「デジタル」病（嗜癖）から抜け出すのは並大抵ではないでしょう。

「当世は世みだれて民の力よわし」と日蓮が、その生きた時代を喝破したように今も昔も変わりません。昨今のデジタル時代も鎌倉時代同様、官民上から下まで深刻です。

人間は所詮、アナログ的存在です。「読書」は山登りに等しく、根気、忍耐、ねばり強さが求められます。今、本当に必要なのは、そのドン臭さだと思います。大人の社会も子どもの世界もデジタルにうつつを抜かすのではなく、今こそ「本の虫」や「活字中毒」という、ほんものの「読書体験」を積み重ねることの方が必要なのではないでしょうか。

本格的な評伝

小社は 1948 年の創業当初から専門書を出版物の大きな柱の一つにしてきました。「一冊一冊、心のこもった本づくり」が小社の出版姿勢であり、幸いにも読者に支えられ、現在までに約 5000 点以上もの書籍を刊行してきました。

2003 年には歴史に名を残す人たちの叡智に耳を傾け、自らの指針を学び取ろうとする《ミネルヴァ日本評伝選》をスタートさせました。本叢書は、本格的な評伝シリーズとして新聞や雑誌で幾度も取り上げられ、研究者のみならず、歴史好きの読書人からも注目を集めています。

「知の履歴書」

さらに今年４月には「日本評伝選」の姉妹編として、《シリーズ「自伝」my life my world》を創刊しました。人文・社会科学や自然科学など学問の分野のみならず、芸術・文化など、幅広い分野の第一線で活躍する専門家たちが、自らの歩みと研究生活などの軌跡を描く、「知の履歴書」ともいえる叢書です。

監修の速水融･日高敏隆両先生が「刊行のことば」のなかで「著者は自伝が書かれた時点での達成過程を書くわけで、何年か後にそれを自ら否定することだってあり得る。重要なのは、いかなる動機でその世界を出発させ、どのように進展させ、時には遍歴し、とにかくあるところまで達成したか、の軌跡を公開することである。ある場合には失敗もあったろうし、壁にぶつかったり、悩んだりしたに違いない。それらがどう乗り越えられたかを知ることだけでも、その個人の経験を超えた、「知」の求道が読み取れるだろう。」と書いておられるように、本シリーズでは、研究者等がその高嶺へとたどりつくまでに、どのような紆余曲折を経てきたのかが、著者自らの手によって明らかにされます。現代に生きる知の先達たちの履歴を知ることは、未来を担う若い人たちにとって、知的好奇心を満たすだけではなく、困難な時代を生き抜くための一つの羅針盤になるのではないでしょうか。

（すぎた　けいぞう：ミネルヴァ書房代表取締役社長）

シリーズ「自伝」*my life my world*　速水融　日高敏隆　監修

精神医学から臨床哲学へ
木村　敏著　精神医学の泰斗が明かす、生い立ちから研究生活のすべて。2940円

生物学の夢を追い求めて
毛利秀雄著　反骨精神を失わず生きる泰斗が学界と自身の戦後史を描く。2940円

日本語源広辞典
増井金典著　なるほど、それでこう言うのか。豆知識から、国語や古典の学習まで、読んで楽しい語源辞典。異なり語数約2万9千語を収載。984頁／6825円

ミネルヴァ書房　京都市山科区日ノ岡堤谷町1　TEL075-581-0296　※価格税込

生誕100年! 東洋の古代研究に生きた生涯

●白川静　字書3部作

新訂　字統　18900円
新訂　字訓　17850円
字　通　23000円
＊価格は税込

最新刊!生誕100年記念出版

白川静読本　1470円

巻頭対談：五木寛之 vs. 松岡正剛「呪能と歌の心」
浅田次郎から吉本隆明まで47人の知性が白川静への扉を開く。

平凡社　〒112-0001 東京都文京区白山2-29-4
TEL 03-3818-0874　http://www.heibonsha.co.jp

安野光雅が描く『三國志』の世界
全作品93点を一挙紹介!

三國志逍遙

目次より
1章　中国史書の魅力
2章　人の世の巡り合わせ
3章　禅譲のふるさと
4章　歴史を歪めるものは誰か
5章　『魏書』――短編小説の味わい
6章　『蜀書』――諸葛亮、是か非か
7章　『呉書』"赤壁の戦い"の行方

安野光雅　画
中村愿(まこと)　文

A5判
上製・カバー装
408頁

定価：本体1900円（税別）

山川出版社　〒101-0047 東京都千代田区内神田1-13-13　TEL 03-3293-8131
FAX 03-3292-2994

ジュニア英語名作ライブラリー2010

英語版 世界の名作大きな絵本セット
定価19,950円（税込）
英語版 エリック・カールの大きな絵本セット
定価19,740円（税込）
英語版 世界の名作絵本シリーズ
定価18,512円（税込）～
英語版 アイ・スパイ・ミッケ!シリーズ
定価 各15,750円（税込）
英語版 ミッフィーセット
定価10,395円（税込）
英語版 がまくんとかえるくんセット
定価11,550円（税込）
英語版 きかんしゃトーマスセットセット
定価8,190円（税込）
英語版 レデーバードのジュニアライブラリーシリーズ
定価15,120円（税込）～

株式会社 三善　〒167-0032 東京都杉並区天沼2-2-3
TEL:03-3398-9163　FAX:03-3398-9170

ヤングアダルト図書総目録

2010年版発行!



中学校・高等学校・公共図書館
選書利用率No.1
※朝の読書に最適

■巻頭エッセイや『朝の読書』実践校紹介の頁も充実。

ヤングアダルト（ＹＡ）とは、主に中学、高校生（13～19歳）を対象とした呼称です。本目録ではこの多感な世代にお薦めの本を紹介しています。

※書店様へご注文ください。＜頒価300円（税込）＞

ヤングアダルト図書総目録刊行会
〒162-8710 東京都新宿区東五軒町6-24 トーハンビル内 電話 03-3266-9521

NO. 27

部落解放・人権図書目録

2010　A5判／128頁／頒価300円（税込）

●2009年11月までに刊行（予定も含む）されている書籍1,067点を紹介。ISBNコード付。

項目
《部落問題》総記・事典／現状／運動／教育／行政／歴史／文化・思想
《人権》基本的人権／人権一般／性差別／他
部落解放・人権関係雑誌一覧
書名索引・著者索引・掲載出版社名簿

●書店様にてご注文ください。

部落解放・人権図書目録刊行会
〒162-8710 東京都新宿区東五軒町6-24 トーハンビル内
TEL 03-3266-9521

図説日本の河川
小倉紀雄ほか2名編　定価4515円

ホルツ博士の最新恐竜事典
小畠郁生監訳　定価12600円

野生動物保護の事典
野生動物保護学会編　定価29400円

和算の事典
佐藤健一監修　定価14700円

感情と思考の科学事典
海保博之・松原　望監修　定価9975円

'10総合図書目録あります。ご請求下さい。

朝倉書店　東京都新宿区新小川町6-29
〒162-8707 ☎03-3260-7631

宇宙と太陽が操る気候変動
海外で話題の学説、待望の翻訳本出来！

"不機嫌な"太陽
気候変動のもうひとつのシナリオ
H. スベンスマルク／N. コールダー著
桜井邦朋監修　青山洋訳



太陽活動低下等により地球大気中へ宇宙線の侵入量が増加し下層雲を形成。その結果、地球が寒冷化するという新しい学説を、主観や感情を交えず平易な言葉で語る。この「シナリオ」が喫緊の問題として取り上げられている気候変動の未来予想に一石を投じる。

A5判・252頁・口絵6頁・定価2,940円
ISBN-978-4-7699-1213-2

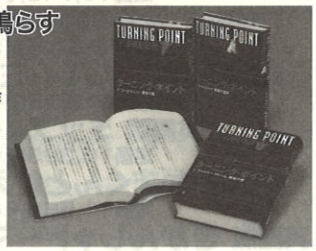
恒星社厚生閣　〒160-0008 東京都新宿区三栄町8
TEL：03-3359-7371　FAX：03-3359-7375

ターニング・ポイント

環境破壊に警鐘を鳴らす
新しい冒険小説

デイヴィッド・クラス 作
金原瑞人・西田　登 訳

①ファイヤーストーム
②ワールウィンド
③タイムロック



【全3巻】A5判/410～472頁　ISBN978-4-265-10520-5
NDC 930　●揃定価5,985円(揃本体5,700円＋税)

岩崎書店　東京都文京区水道1-9-2 TEL.03-3812-9131
http://www.iwasakishoten.co.jp

全農教の話題の新刊

地球温暖化と昆虫
桐谷圭治・湯川淳一／編　A5判 348ページ上製本　定価4,725(本体4,500)円



温暖化によって、昆虫の分布域、世代数、出現時期、高温障害などにどのような影響が出るのでしょうか？また、植物や人間とはどのようなかかわりが？
本書は、チョウやカメムシ、セミから虫えいを形成するタマバエ、マラリアを媒介する蚊まで、多様な昆虫が温暖化にどのように反応しているかを分かりやすく解説しています。

全国農村教育協会
http://www.zennokyo.co.jp
〒110-0016 東京都台東区台東1-26-6　TEL.03-3839-9160　FAX.03-3833-1665



日本古代人名辞典
阿部　猛編著　平安時代を中心に源頼朝政権の成立期頃までの人名約13600人を50音順に収録し、主な経歴や業績などを簡潔に解説。伝説的な人名も含め幅広く網羅し、過去最多の人名数を収録。郷土史調査にも役立つ人名辞典。

菊判　820頁
定価15,750円



桜の話題事典
大貫　茂編著　写真紀行家である著者が、桜をテーマに全国各地を取材した経験を凝縮。桜の品種や名所・見どころ、名桜にまつわる伝説から写真撮影についてのアドバイスまで、桜の話題が盛りだくさんのハンディな一冊。

A5判　296頁
定価2,520円

東京堂出版　http://www.tokyodoshuppan.com (価格は税込)

二四〇の古社寺のすべてがわかる！京都探訪辞典の決定版

京都古社寺辞典
吉川弘文館編集部編　3150円
二四〇ヵ所の神社・寺院を厳選。由緒や歴史、建物・庭園などの文化財を分かりやすく解説。



貴重な写真で今よみがえる、災害と復興の記録！

写真集 関東大震災
北原糸子編　首都を廃墟と化した巨大地震が、700枚の貴重な写真から鮮やかによみがえる。2600円



価格税込　東京都文京区本郷七―二一八
電話〇三―三八一三―九一五一　吉川弘文館